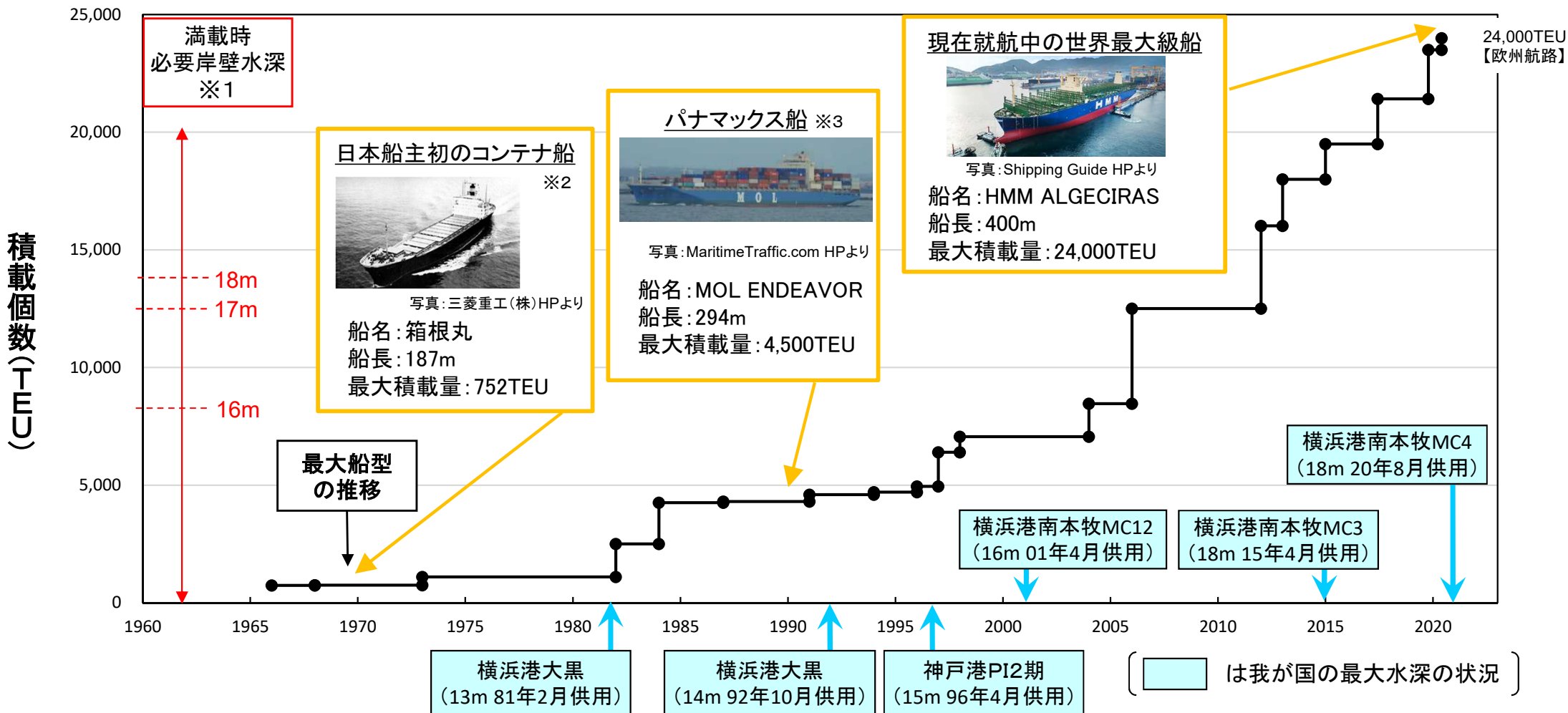


コンテナ船の大型化と我が国港湾の最大水深岸壁の推移

2020年 8月現在




※1: 満載時必要岸壁水深は、「港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成30年5月)」上の「対象船舶の主要な諸元の標準値」をもとに、一般的な船型に応じた「積載可能コンテナ個数」に基づき記載しているため、積載個数が少ない船舶でも、上図の満載時必要岸壁水深よりも深い岸壁を必要とする場合がある。

※2: かつて日本郵船(株)が所有・運航していた我が国船主初のコンテナ船。

※3: 新パナマ運河(2016年6月供用)供用開始以前において、パナマ運河を通航可能であった最大船型(船長294m以内、船幅32.3m以内)。

大型化が進むコンテナ船

岸壁水深	船型(例示)				船名	同縮尺イメージ (長さ方向に同縮尺)	備考
	積載 TEU	全長 (m)	幅 (m)	積載 列数			
12m	2,553	200	32	12	MOL SPARKLE		東南アジア航路に投入(MOL)
16m	9,300	332	45	18	NYK ALTAIR		邦船社が日本に寄港させる最大のコンテナ船 【欧州航路 FE1】
17m	12,400	366	48.4	19	MSC FLAVIA		拡張されたパナマ運河を通行可能な最大のコンテナ船例 【北米航路 TP6】
	13,169	365	48	19	MSC VEGA		【北米航路 TP6】
	13,870	366	51	20	MILLAU BRIDGE		川崎汽船が2015年3月に投入 【欧州航路 MD2】
18m	19,600	400	59	23	MSC INGY		2016年建造 2万TEU超コンテナ船が竣工するまでの世界最大コンテナ船 【欧州航路 AE5】
	23,756	400	61.5	24	MSC GULSUN		2019年7月投入 営業投入された世界最大のコンテナ船

※1:各船舶の諸元はClarkson Container Ship Register 2014、Clarkson World Fleet Register Report、国際輸送ハンドブック、Shipping Guide 及び船社ホームページ

※2:岸壁水深と対象船舶は「港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成19年7月)」に準拠

大型化が進む自動車専用船

必要岸壁水深	船型(例示)					船名	同縮尺イメージ (長さ方向に同縮尺)	備考
	積載台数(台)	喫水(m)	トン数(DWT)	全長(m)	幅(m)			
5m	600	4.5	2,159	105	15.6	ダイハツ丸		内航自動車専用船(小型)の例 【興国海運】 瀬戸内海航行制限対応
10m	4,115	8.5	15,045	186	28.2	Mercury Leader		我が国に寄港する平均的な船型 瀬戸内海航行制限対応
	4,900	9.1	10,300	189.3	32.3	Violet Ace		我が国に寄港する平均的な船型 瀬戸内海航行制限対応
12m	6,331	10.3	21,385	199.9	32.26	Hercules Leader		邦船社最大の自動車専用船 【NYK】 瀬戸内海航行制限対応
	7,500	9.9	20,034	199.9	37.5	DRIVE GREEN HIGHWAY		2015年に4隻投入予定 邦船社最大の自動車専用船 【K-Line】 瀬戸内海航行制限対応
	8,086	10.0	21,421	233	32.26	Asian Parade		世界最大の積載台数の自動車専用船 【EUKOR】
13m	7,879	11.3	30,140	227.8	32.26	Carmen		世界最大のトン数の自動車専用船 【Wallenius Lines AB】

※1:各船舶の諸元はClarkson Container Ship Register 2012、Clarkson World Fleet Register Report (Jan.2013)、Marine Traffic及び船社ホームページによる

※2:瀬戸内海航行制限対応とは、全長200m以内の船舶